



段ボールベッド確保など災害時協定



トモク井上光男札幌工場長（左）

株式会社トモク札幌工場と当別町との災害時における協定締結式が役場で行われました。北海道胆振東部地震の経験を踏まえ、避難所生活におけるプライバシー保護や防寒対策として、町の要請に応じて段ボールベッドや間仕切り用の段ボールを確保していただくものです。井上光男札幌工場長は「町と交流を更に深め、万が一の時に最大限協力したい」と話されていました。（12月12日）

当別町産カラー「サッポロ」が優秀賞！



純白で、茎が長く丈夫な「サッポロ」

花き卸売大手の㈱大田花きが主催する「フラワー・オブ・ザ・イヤー OTA 2018」で、当別花卉生産組合のカラー「サッポロ」が優秀賞に選ばれ、㈱大田花き（東京都）で表彰式が行われました。2018年に流通した全国の花きに輸入品を加えた約20万点の候補の中からの輝かしい受賞で、当別町産のカラーが約40万本出荷されたうち、品種「サッポロ」は町内の生産者23戸により約35万本を出荷。需要の多いブライダルシーズンに出荷量を増やす取り組みが今回の受賞に結びついたようです。（12月7日）

初の合同クリスマス会



外出の機会が少ない高齢者がいきいきと過ごせることを目的に活動する「友遊会」と「かすみ草の集い」の合同クリスマス会が、当別町社会福祉協議会の主催で開催されました。合同でクリスマス会を行うのは初めての試みで、63人が参加。参加者はバイキング形式の昼食を楽しんだ他、クリスマスプレゼントが当たる抽選会で盛り上がりました。当選者が発表されるたびに会場は沸き上がり、プレゼントはサンタクロースやトナカイに仮装した職員から手渡されました。（12月7日）

広 告

広 告

広 告

広 告

財産や権利の保護を学ぶ



判断能力が不十分な方を守る成年後見制度の理解を深めるために、「当別町地域福祉町民セミナー」がゆとろで行われました。全国で唯一の「成年後見講談」の講師である神田織音^{おりね}さんを講師に迎えての開催で、109人が参加。講談は「高齢者を標的にした詐欺」「資産管理」「障がい者の家族」をテーマに、3話披露されました。講師の人を引き込む話術に、参加者は時折笑いを交えながらも、真剣な表情で聞き入っていました。また参加者自身が話し合いをするワークショップも行われました。(12月16日)

宇和島市長が感謝の気持ちを



姉妹都市宇和島市から岡原文彰市長が、平成30年7月豪雨(西日本豪雨)による被災後、初めて来町されました。議場で行われたセレモニーでは、義援金を贈った団体関係者や町議会議員などが出迎え、宮司町長から「復興に向けていまだに大変な中、訪問いただき感謝します」と言葉が送られ、岡原市長からは「被災時に当別町から真っ先に飲料水の支援をもらった。その後も義援金などをいただき、新年を迎える前に直接お礼を伝えたかった」と感謝の気持ちを表す力強いメッセージをいただきました。(12月18日)



広 告

広 告

広 告

広 告